

令和八年度一般選考試験

試験問題

国語

受験上の注意

- 一、答えはすべて解答用紙に書きなさい。
- 二、問題は16ページあります。
- 三、試験時間は六十分です。
- 四、解答に字数制限がある場合、句読点や符号は一字と数えます。ただし、問題に指示がある場合はその指示に従うこと。

三重中学校

受験番号

【一】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

テレビのバラエティー番組等でも時々見るバンジージャンプは、オーストラリア東方の南太平洋に浮かぶ国、バヌアツのペンテコスト島で行われるナゴールと呼ばれる通過儀礼^{ぎれい}（成人になるための儀式）が起源と言われています。バンジージャンプには伸縮性^{しんしゆくせい}のあるゴムが使われますが、ナゴールではヤムイモのつるを足に巻きつけ、高さ数十メートルにもなるやぐらの上から飛び降りるので、その衝撃^{げいき}はバンジージャンプの比ではないそうです。²この儀式の重要な点は、参加者はただやぐらから飛び降りるだけでなく、自分が使うヤムイモのつるを、その長さや強度なども含めて自分で決めることになっていることです。つるが長過ぎたり、弱かったりすれば、地面に激突^{げきとつ}することになります。實際^{じつじ}けが人が出ることも珍しくなく、時には死に至ることもあるそうです。アトラクションと化している現代のバンジージャンプでは、安全性は基本的に事業者が担保^{たんぽ}し、飛ぶ側は誓約書^{せいやくしょ}を書いてお金を払うだけです。しかし、ナゴールは単なるやんちゃな度胸試しではなく、まさに命がけであり、自分の命を自分で守るという責任が負わされています。だからこそ、それができることが大人の証、つまり通過儀礼とされるのです。

こういった通過儀礼は世界各国にあり、たとえばアフリカのマサイ族では、かつてライオンを投げやりで仕留めることが成人になるための通過儀礼として課されていたそうです。サバンナに一人で出かけて百獣^{ひゃくじゆう}の王であるライオンを狙うのですから、逆に命を落とすことも当然時には起こります。近年ではライオンの個体数の減少からこの儀礼は禁止されたそうですが、これも真正銘^{しんじゆんめい}の命がけです。しかし、この通過儀礼を成し遂げ^とすることで、一人前の男として認められ、大人の仲間入りができたのです。

こういった命がけの通過儀礼は、現代の我々から見れば理解できない野蛮^{やまん}な風習のようにも映ります。いくら通過儀礼と言っても死んでしまつては元^{もと}も子もない。³物には程度というものがあり、そんな過酷^{かこく}な試練は課すべきではない。確かにその通りでしょう。しかし、ではどうしてそんな儀式が世界各地にあるのか？ 現代の自分たちの常識で「野蛮な風習」と簡単に切り捨ててしまうのではなく、⁴そのことの意味をもう少し考えてみる価値があるのではないか、私はそう思うのです。

こういった⁵通過儀礼に共通していることは、恐怖心^{おそこころ}に打ち勝つ、そして困難なことをやり遂げる、この2点です。お恥ずかしい話ですが、私は結構、臆病^{おくびよう}な方です。⁶飛行機に乗る時などは、毎回、離陸^{りりく}の際に墜落^{ついろく}したらどうしようなどと考えてしまいます。国際航空運送協会（IATA）が2019年に発表したデータでは、飛行機の事故発生確率は100万フライトあたり1・13回とのこと。単純に計算すれば、たとえば毎日飛行機で職場まで往復

したとしても、事故にあう確率は1200年に1回程度になります。『枕草子^{まくらぐさ}』を書いた清少納言が「けふも、ひこふき、いとをかし」とでも言いながら、平安時代からいままで毎日飛行機に乗り続けていたら、1回くらいは事故にあっているかもしれない。そんなレベルの話です。

しかし、です。厳密に考えれば、清少納言が初めて飛行機に乗った時に事故にあってしまう確率もゼロではない。それもまた事実です。そして言うまでもなく、それは清少納言だけでなく誰^{だれ}が飛行機に乗っても同じであり、つまり臆病な私の心配にもまったく根拠^{こんきょ}がないとは言い切れないのです。

実は私たちの周りには多くの小さなリスクが無数に存在しています。⁷ 新型コロナウイルス

の^{※2}パンデミックで、バスや電車のつり革やドアノブなどを触^{さわ}ることのリスクが指摘^{してき}され、アルコールで手を消毒することも日常の光景となりました。しかし、以前から⁸潔癖症^{けつぺきしやう}と呼ばれる人々はそういった「ばい菌^{きん}」が周囲にいることに敏感^{びんかん}で、バスや電車のつり革を触るなんてとんでもない、と感じていたのです。潔癖症の人たちは、^{※3}ややもすれば病的^{びやうてき}などと形容されますが、決してその主張に根拠がない訳ではなく、コロナ禍^かは実際に一定のリスクが存在していることを^{※4}顕在化^{けんざいか}させました。車に乗れば、あるいは普通^{ふつう}に町を歩いていても交通事故にあうリスクがあり、山に行けば遭難^{そうなん}の、また海に行けば溺^{おぼ}れてしまうリスクが実際にあります。科学がこの世のすべてを説明している訳でもないのですから、地球に宇宙人が来ていることも、お化けがいることも、先祖を供養^{くやう}しなければたたりがあることも、完全に否定できる訳ではありません。

あ

^{※5}蓋然性^{がいぜんせい}の高いリスクから、普通はあり得ないようなリスクまで、確率を考えれば幅^{はば}がありますが、ゼロにならないリスクはこの世に無限に存在している。そのことは厳然たる事実です。

幸いなことに、日頃^{ひごと}私たちはそんなリスクのことをあまり意識していません。考え始めればリスクは無限にあるのですから、心の^{※6}防衛機能^{ぼうえいきのう}として生まれながらに人はそのようにできているのかもしれませんが。しかし、意識しようとしまいとリスクはどこにでもあるのがこの世界の本当の姿であり、たとえば私たちが何か重要な選択^{せんたく}をしなければならなくなった時、それは^{いやおう}否応なく目の前に現れてきます。(中略) あなたが野球少年で、野球推薦^{すいせん}で強豪校^{きやうごうこう}に入るか、

⁹普通に試験を受けて進学校に入るかという選択があったとしましょう。プロ野球選手を目指すのなら、強豪校に入って甲子園^{こうしえん}のような大きな大会に出場した方が良いことは間違^{まちが}いありません。しかし、プロ野球選手となって活躍^{かつやく}できる人はエリート中のエリートで、多くの人は夢叶^{かな}わず途中^{とちゆう}で脱落^{だつらく}していきます。進学校に行つて公務員にでもなれば、より安定した生活が保障されるでしょう。しかし、仕事が退屈^{たいくつ}でプロ野球選手になりたかったという自分の思いが人生を通じてずっと残ってしまうようなことにもなりかねません。

さてこんな場合、どのような選択をするのが「正解」なのでしょう？ 人生を大きく左右

しかねない重い選択を目の前にすると、その選択に伴うリスクが誰でも気になります。なるべく失敗のない良い選択ができるようにと情報を集め、選択肢しのリスクと※₇ベネフィットを正確に把握はあくしようとする多くの人が努めることでしょうし、実際それは大切で必要なことです。しかし、ベストな選択は何か、それを一生懸命考え、調べていけばいくほど、それまで見えなかったリスクが見えてきたり、結論が真逆になっている情報があることに気づいたりして、何が正しいのか、どうしていいかわからなくなる。「ベストの選択がしたい」、「リスクのない選択をしたい」という思いが強すぎると、足がすくんで、何も選べなくなってしまう。

学校の勉強であれば、より詳しく調べていけばいつかは正解にたどり着く、それが普通かもしれない。しかし、現実の世界を生きていくということは、実はそんなものではない。どんな選択をしてもそれに伴うリスクが必ず存在し、現実の問題の多くには、そもそも絶対正しい「正解」なんてない。でも、その中で私たちは何かを選んでいかなくてはならないのです。何が正解なのかわからない、自分の選択は間違いなのかもしれない。そんな恐怖に耐えて、自分の責任で何かを選んでいくのです。より良い選択をするための努力はとても大切です。でも、自分のやれる限りの準備をしたら、あとはもう

い

しかない。それができなければ、大人

になれない。一人の人間として、この世界と※₈対峙たいじして生きていくことができない。それを世界各国にある過酷な通過儀礼は教えてくれているのではないか、私はそう思うのです。

(中屋敷均 『わからない世界と向き合うために』)

(注)

- ※1 担保……大丈夫であると保証すること。
- ※2 パンデミック……感染症などの世界的な大流行。
- ※3 ややもすれば……どうかすると。
- ※4 顕在化……表面に現れてくること。
- ※5 蓋然性……ある事柄が起こる確実性。
- ※6 防衛機能……心が傷つくことを避けるための心理的なはたらき。
- ※7 ベネフィット……利益や恩恵のこと。
- ※8 対峙……対立するもの同士が向き合っているさま。

問1 ――線1「バンジージャンプの比ではない」の意味として最も適切なものを、次の

ア、イから一つ選び、記号で答えなさい。

ア バンジージャンプと比べるべきである。

イ バンジージャンプと比べるべきではない。

ウ バンジージャンプよりずっと衝撃が大きい。

エ バンジージャンプほど衝撃は大きくはない。

問2 ――線2「この儀式の重要な点」とありますが、どのような点が重要なのですか。

解答欄に続くように、文中より二十字で抜き出して答えなさい。

(

) ている点。

問3 ――線3「元も子もない」の意味として最も適切なものを、次のア、イから一つ選び、

記号で答えなさい。

ア 利益ばかりか元手まで失ってしまう。

イ 申し訳なくて祖先に合わせる顔がない。

ウ 子どもが元気であることさえできない。

エ 挑戦すればよかったと後悔することになる。

オ 欲張って両方手に入れようとして片方も手に入れられない。

問4 ―― 線4「そのことの意味」とありますが、どういう意味ですか。最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 命を落とすかもしれない、一見「野蛮」とも思える儀式を世界各地に知らせようとするこの意味。

イ 命を落とすかもしれない、一見「野蛮」とも思える儀式が今も世界各地に残っているこの意味。

ウ 命を落とすかもしれない、「野蛮」とも思える儀式が現代の常識となっているこの意味。

エ 命を落とすかもしれない、「野蛮」とも思える儀式を課すべきではないということの意味。

オ 命を落とすかもしれない、「野蛮」とも思える儀式を簡単に切り捨ててしまうことの意味。

問5 ―― 線5「通過儀礼」を別の言葉でどのように言っていますか。ここより前の部分から四字で抜き出して答えなさい。

問6 ―― 線6「飛行機」、7「新型コロナウイルス」とありますが、これらは何を伝えるために挙げられたものですか。最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 私たちの周りにあるリスクを気にしては何もできないことを示すため。

イ 私たちの周りに存在する多くのリスクから自分の身を守る必要を示すため。

ウ ゼロにならないリスクがこの世に数限りなく存在していることを示すため。

エ 現実の世界を生きるということはリスクとの戦いだということを示すため。

オ どんな選択をしてもリスクが必ず存在し運命に左右されることを示すため。

問7 ——— 線8「潔癖症けつぺきしょうと呼ばれる人々」を本文中で筆者はどのようにとらえているのですか。
最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 潔癖症の人たちの主張にはそれなりの根拠があり、普段は気付かれにくいリスクを示してくれることもある。

イ 潔癖症の人たちは、リスクを恐れすぎていることも多く病的なので、その主張に耳を傾ける必要はない。

ウ 潔癖症の人たちは、周りに「ばい菌」がたくさんいることを気にしすぎ、バスや電車のつり革に触れられないかわいそうな人たちだ。

エ 地球に宇宙人が来ていることを完全に否定できないように、潔癖症の人たちの存在を完全に否定することはできない。

オ 日頃私たちが周りのリスクを意識していないように、潔癖症の人たちの存在も意識していることはない。

問8 あに当てはまる言葉を、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア ところで イ たとえば ウ しかし エ もちろん オ また

問9 ——— 線9「普通に試験を受けて進学校に入る」という選択をした場合の「リスク」について書かれた一文を抜き出し、その初めの十字を答えなさい。

問10 いに入れるのに最も適切な言葉を、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 考える イ 祈いのる ウ 選ぶ エ 待つ オ 飛いぶ

問11 ——— 線10「さてこんな場合、どのような選択をするのが「正解」なのでしょうか？」とありますが、筆者はこの問いに対してどのように説明していますか。五十字以上七十字以内で説明しなさい。

【二】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

松岡清澄（きよすみ）は高校一年生になったばかりの男子生徒。縫い物が好きで、中学までも学校では浮いた存在だった。両親は清澄が一歳の時に離婚。清澄は父と数ヶ月に一度会っており、母と姉と祖母と暮らしている。姉は結婚を控えており、清澄は姉のウェディングドレスに刺繍をすることになったのだが、なかなか順調には進まない。

姉は立ったまま、僕の手元を凝視していた。見られていることに気づいたけど、ふしぎと緊張はしなかった。むしろ針をすすめることに気持ちが悪く落ちついていく。

「白だけじゃなく、ところどころに銀色の糸を使いたいんやけど、嫌？ 派手すぎるかな」

「ええよ。思うようにやってみて」

意外な言葉に顔を上げると、姉はとてもやわらかい表情で僕の手元を見つめていた。

「ええの？」

「うん。キヨを信じる」

針を持つ指がかすかに震えた。白い糸で刺した線の上に、銀色の糸を重ねていく。

「ところで、これはなんの刺繍なん？」

「①」

「どういう意味？」

「②」であってくれ。たしかに、その声を聞いた。^{※1}黒田さんの声でもあり、父の声でもあった。

^{※2}あの時、ぜんぶ思い出したのだ。

小学四年生の頃、「自分の名前の由来を調べる」という宿題が出されたことがあった。母に訊ねたらとたんに不機嫌になって「知らん」とそっぽを向いてしまった。祖母に訊ねてもよくわからなくて、とうとうなにも書けないまま提出日を過ぎてしまった。

「宿題出してないの、松岡くんだけよ。明日、ぜったい持ってきてきなさい」

担任の先生に念を押されて、しかたなく自転車に乗って黒田縫製に行ったのだ。母も祖母も知らないのなら、あとはもう父しかない。黒田縫製の場所はいちおう知っていた。以前に父に連れていってもらったことがあったから。

駅で言うと、ふたつぶん。¹自転車で走るその距離がとてもなく長く感じられた。二期の終わり近くの風の強い日で、空はざらざらした灰色だった。風が吹くたびハンドルを握る指が冷えて、感覚がなくなっていた。

ようやくたどりついたが、父は応答しなかった。あきらめきれずに何度もチャイムを押して

いると、自宅兼工場のほうから黒田さんが出てきて「全なら朝からずっと出かけとるで」と教えてくれた。

「どこに？」

「知らん。なにしに来た」

黒田さんにはこりともしなかった。子ども相手に愛嬌を振りまくような人ではないと知っていてもなお臆してしまい、うまく声が出せなくなった。

「まさか、家出か？」

² 黒田さんの眉間にぎゅっと皺が寄ったので、あわてて首を振った。かなり③説明になつてしまったが、黒田さんは辛抱強く聞いてくれていたと思う。

「そうか。帰れ」

話を聞き終えた黒田さんはしかし、怒鳴るようにそう言い放ったのだった。

「え、なんで」

「ええから帰れ、今日は」

やっぱり怒ってる。半泣きで家に帰った。怒られる意味がわからなくて、ひたすら混乱していた。あたりはもうずいぶん暗くなっていて、焦りすぎてペダルにかけた足を何度も踏み外し、ようやく家についたら玄関先で母が待ち構えていて、僕が遅く帰ってきたことをひどく怒っていた。

でも次の日学校（宿題を出さなかったので、とても怒られた）から帰ったら、黒田さんが家の前で待ち構えていた。

「ちよつとええか、キヨ」

しばらく川に沿って歩いたところで、黒田さんは④スーツの内ポケットから折りたたんだ紙を取り出した。額に青筋が浮いていて、ものすごくこわかった。

「全に聞いてきたで」

「え」

「お前の名前の由来や」

紙はなにかの書類の裏紙らしく、「甲」とか「乙」とかいう文字が見えた。

「読んだるわ。ただし一回だけやぞ」

「ちよ、ちよつと待って」

「覚えろよ」

あわてる僕をよそに、黒田さんが重々しい咳払いをひとつした。その耳たぶはなぜか真っ赤に染まっていたことをよく覚えている。

「まずは水青が生まれた時のことから説明します。最初は姓名判断の本で見つけた『愛』という名前にしようと思っていました。ええ名前やし、みんなに愛される子になってほしいと思ったから。水青は難産でした。十時間ぐらいかかったと思います。分娩室の外で待っていると声が聞こえました。一般的に赤ん坊の泣き声はオギャーですが、彼女の産声はぜんぜん違った。川のせせらぎみたいに美しくてやさしかった。だから『川』とか『流』という文字を入れたかったのですが、さっちゃんそれはなんか嫌やと言うので、水青にしました」

直立不動の黒田さんが「名前の由来」を読み上げる様子は、法廷ドラマで見た起訴状朗読の場面にそっくりで、通り過ぎる人がみんな怪訝な顔をしているのがわかった。

「清澄は、病院についてから三十分もかからずにするつと産まれて、でもやっぱり産声は流れる水の音みたいに聞こえました。キヨのほうがちよつとだけ流れのはげしい川でした。その時もさっちゃんは『流』という字を入れることに猛反対しました。もしかしたら『流れる』という言葉になんとなく縁起の悪い印象を抱いたのかもしれませんが。もっと強そうな名前にしてほしいとも言われました。でもキヨ」

キヨ、のところで黒田さんがまた咳払いをした。怒っているわけではなくて、どうやら感極まっているらしいとその潤んだ目を見て気がついた。

「流れる水は、けっして淀まない。常に動き続けている。だから清らかで澄んでいる。一度も汚れたことがないのは『清らか』とは違う。進み続けるものを、停滞しないものを、清らかと呼ぶんやと思う。これから生きていくあいだにたくさん泣いて傷つくんやろうし、くやしい思いをしたり、恥をかくこともあるだろうけど、それでも動き続けてほしい。流れる水であってください。お父さんからは以上です」

以上です。二度言って、黒田さんは紙をポケットにしまうと、逃げるように足早に立ち去った。

そのことを話しているあいだ、僕は手を休めなかった。姉が壁の時計に目をやって「もう十一時」と声を上げた。ずいぶん長いあいだ、立ちっぱなしにさせていた。

「椅子持ってこようか。それか、ちよつと休憩する？」

「ううん、だいじようぶ。けど、できればお母さんの様子見てきてほしい」

朝に一度、部屋に食事を運んだきりだという。襖を開けたら、居間から音量を絞ったテレビの音が聞こえてきた。足音を忍ばせて近づいていくと、母は背もたれを倒した座椅子の上に横たわっていた。録画したドラマを観ているらしい。またこっそり戻ろうとしたら母がいきなり振り返って、ぱっちり目が合ってしまった。

「キヨあんだ、学校は？」

「えっと、や、休んだ、よ……」

もし母に訊かれたら毅然と答えようと思っていたのだったが、実際にはちよつと
⑤が
引けてしまった。責め立てられることを覚悟していたのに、母は「あ、そう」とすぐにテレビ
に向き直ってしまう。

部屋に戻ってそのことを話すと、姉は「ふうん」と⑥をすくめただけだった。

「お母さんっぽくないリアクションやと思わへん？」

「そう？ まあ、なんかいろいろ思うところがあるんやろ。お母さんにも」

それから、部屋の中を歩いてもらったり座ってもらったりした。注意深く、次に糸を足す
場所にするしをつけていく。

「もう、ドレス脱いでもええよ。ありがとう」

まだだいじょうぶだ、と主張する姉を残して部屋を出た。

僕だってまだやれそうな気がするけれども、あとになって疲れが出たら困る。自分の体力や
能力を過信するとどえらい目に遭うというのが、今回母を見ていてよくわかった。

普段着に着替えた姉と、昼食を調達するためにコンビニに向かう。冬みたいに寒い日が続い
たかと思ったら、今日は歩いているだけで額に汗が滲む。十月って、こんなに不安定な季節
だったのだろうか。

歩きながら姉が「さっきの名前の話、ぜんぜん知らなかった」とぼつりと呟いた。

僕も今まですっかり忘れていた。ようやく宿題を提出できた安堵に記憶が押し出されたの
かもしれない。もつとはよ知リたかったわ、とむくれる姉から目を逸らして、川を眺めた。

記憶の中の風景のほとんどのに、あたりまえのように川が流れている。

僕たち、おらんほうがよかった？ 父と一緒に川を眺めていた時、
⑤
ふいに浮かんできたその
間いを飲みこんだことがある。返事を聞くのがこわかった。でも僕や姉が生まれた時、父は
たしかに「流れる水であってほしい」と願ってくれたのだ。
⑥

昼食を終えて、ふたたび針を持つ。姉に着てもらってだいたいのイメージが固まったから、
あとはボディに着せた状態で刺繍を仕上げていく。

こめかみがずきんずきんと脈を打つ。何度も目薬をさしたが、痛みがおさまらない。ふたつ
折りにした座布団を枕にしてすしだけ目を閉じた。

（寺地はるな『水を縫う』）

※1 黒田さん……清澄の父の雇い主。

※2 あの時……数日前、黒田さんと一緒に川を見ていた時。

問 1

①

・

②

には同じ言葉が入ります。

①

・

②

に入る言葉として最も適切

なものを、本文中から四字で抜き出して答えなさい。

問 2

——線 1「自転車で走るその距離がとてつもなく長く感じられた」とありますが、

その時の気持ちとして最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 名前の由来を父に聞くのがこわくて、気が進まないような気持ち。

イ 久しぶりに父に会えるのがうれしくて、待ち遠しくてたまらない気持ち。

ウ 自分の名前のひみつが分かるかもしれないと、わくわくして心おどる気持ち。

エ 家出してきたことを黒田さんに怒られるのではないかと、びくびくする気持ち。

オ 宿題を出していないことを担任の先生に注意されるのではないかと、心配する気持ち。

問 3

——線 2「黒田さんの眉間にぎゅっと皺が寄った」とありますが、これは黒田さんの

どのような気持ちのあらわれですか。最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号

で答えなさい。

ア 何度もチャイムを押す失礼な行動をする清澄への腹立たしい気持ち。

イ 清澄をこわがらせないようにやさしく答えようと、笑顔を作ろうと努める気持ち。

ウ 宿題を出していない清澄に、父親代わりとしてきびしく注意しようとする気持ち。

エ 清澄のおとずれを清澄の家出かもしれないと思い、とがめるような気持ち。

オ 清澄が父親にわざわざ会いに来たことをうれしく思う気持ち。

問 4

③

・

④

に当てはまる言葉を、次のア～カからそれぞれ一つ選び、記号で答え

なさい。ただし、同じ記号を使うことはできません。

ア うれしそうに

イ おもむろに

ウ 熱心な

エ むやみに

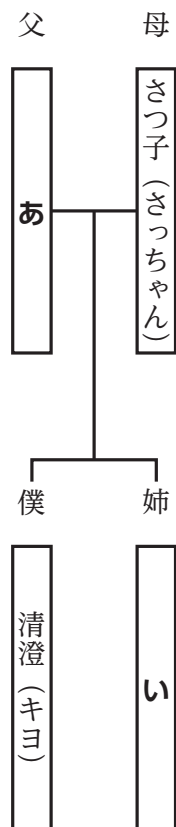
オ 的を射た

カ しどろもどろの

問5 ——— 線3 「キヨのほうがちょっとだけ流れのはげしい川でした」とありますが、どういう意味ですか。最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「キヨ」の産声が、姉の産声よりも川の流れらしく清らかで美しかったということ。
イ 「キヨ」が生まれた時のほうが、姉より男の子らしくたくましかったということ。
ウ 「キヨ」の方が、姉より生まれてくるのに時間がかからずはやかだったということ。
エ 「キヨ」の産声が、姉の産声よりも赤ん坊らしくなくはげしすぎたということ。
オ 「キヨ」の産声が、姉の産声よりも大きな声で元気だったということ。

問6 本文に登場する家族について、次の図の **あ**・**い** の名前を本文中より見つけて答えなさい。



問7 ——— 線4 「逃げるように足早に立ち去った」とありますが、その理由として最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 本当はこの役を引き受けたくなくて早くこの場から離れたかったから。
イ 「キヨ」の父には内緒ないしょできたのでこのことがばれると怒られるから。
ウ これ以上聞かれると言ってはいけないことまで言うかもしれないから。
エ 自分らしくないことを代わりとはいえ言ったのが恥はずかしかったから。
オ 自分には全く関係のないことにこれ以上関わりたくなかったから。

問8 **⑤**・**⑥** に入る言葉として最も適切なものを、次のア～カからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を使うことはできません。

- ア 胸 イ 肩かた ウ 腕うで エ 足 オ 腰こし カ 頭

問9 ――線5「ふいに浮かんだその問いを飲みこんだことがある」とありますが、その理由として最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 一緒に川を眺めているのに話をまだわかっていないのかとばかりにされるのが嫌だったから。

イ どうしてそんなわかりきったつまらないことを聞くのかと怒られるのがこわかったから。

ウ 僕や姉が生まれたことを、父はうれしく思っていないかもしれないと心配していたから。

エ 父が答えなくても、答えはわかりきっていたので聞く必要はないと思い直したから。

オ 僕のことよりも姉をかわいがっている父から本当のことを聞くのがこわかったから。

問10 本文には、過去の内容が語られる場面がありますが、どこからどこまでですか。その部分の最初と最後の三文字で答えなさい。ただし、句読点はふくみません。

問11 ――線6「流れる水であってほしい」とありますが、①誰の、②どのような思いですか。解答欄に従って、①は本文中の言葉で、②は四十字以上六十字以内でくわしく説明しなさい。

【三】 次の各問いに答えなさい。

問1 次の①～⑩の――線について、カタカナは正しい漢字に直し、漢字は読み方をひらがなで答えなさい。

- ① ジュウに発言できるようこびを味わう。
- ② 『平家物語』の初めの部分をアンキしている。
- ③ サンポの習慣は心身の健康につながる。
- ④ 自分が住むチイキの課題を見つけよう。
- ⑤ 学級委員にニンメイされた。
- ⑥ ヤクソクはかならず守ろう。
- ⑦ 今年は学校創立50周年の節目の年だ。
- ⑧ 晴れた日は戸外で元気に遊ぼう。
- ⑨ 大工さんに家を建ててもらう。
- ⑩ 公園の砂場で子どもが遊んでいる。

問2 清少納言と同じ時代に活躍した人物はどれですか。次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 柿本人麻呂 イ 紫式部 ウ 夏目漱石 エ 宮沢賢治

問3 次の①～③の慣用句の意味として最も適切なものを、あとの選択肢からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 口が固い
- ② 手も足も出ない
- ③ 目と鼻の先

- ア いいふらさないこと。
- イ すぐ近くにあること。
- ウ 味方をする事。
- エ じまんに思うこと。
- オ 自分の力ではどうにもならないこと。
- カ よく注意して聞くこと。

問4 次の①・②の漢字の部首名を答えなさい。

- ① 仁
- ② 痛

問5 次の①・②の——線部のカタカナを正しい漢字に直しなさい。

- ① マラソン大会があるので交通がキセイされる。
- ② ひさしぶりに郷里にキセイする。

問6 次の①～③の四字熟語の意味として最も適切なものを、あとの選択肢からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 公明正大 ② 一日千秋 ③ 前代未聞

ア 今までに一度もきいたことのないこと。

イ その場の状況ように応じて適切な処置をすること。

ウ 公平で私心がなくやましいことがないようす。

エ まちこがれる気持ち。

オ 事情が急に変わり、一度に解決すること。

カ 物事をおもいきってすみやかに処理すること。

問7 次の例文の——線の「ない」と同じ使い方のものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

例 書店にはぼくの読みたい本がない。

ア この本を読んでもちっとも悲しくならない。

イ こないたずらをするのはぼくではない。

ウ ぼくは今週の日曜日に学校には行かない。

エ 大切にしていたぬいぐるみがどこにもない。

問8 次の①～⑤の日本語をローマ字で表記しなさい。

- ①冬➡ _ u _ u
②楽器➡ _ a _ _ i
③松阪➡ _ a _ _ usaka
④金魚➡ _ in _ _ o
⑤てんぷら➡ te _ _ _ ra

